※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	新編言語文化　（大修館書店）						
副教材等	アシスト常用漢字（数研出版）マナトレ標準編（ベネッセ）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会で必要とされる国語力を付けるため、１年生では、基礎・基本的な事がらを学びます。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむために、音読活動を積極的に取り入れます。声に出して読むことで、古文独特のリズムや文体に親しみましょう。
・文章記述やペアワーク、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を次のとおり育成することをめざす。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめている。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、自己の思いや考えを深めたりしながら、言語感覚を磨き、積極的に他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元の学習内容</th><th rowspan="2">単元の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1学期</td><td>小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。</td><td rowspan="2">a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。
b[　読　]：文語的表現を含めて理解し、主人公の心理の変化、老婆の論理などを正しく読み取っている。
c：作品に興味をもち、小説の構成や登場人物の心情の変化をとらえようとしている。</td><td rowspan="2">ワークシート
定期考査</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">ワークシート</td></tr>
<tr><td>［教材］
羅生門</td></tr>
<tr><td>日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。</td><td rowspan="2">a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。
b[　読　]：文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特所について評価している。
c：日本語の表記の特色について筆者の主張をとらえることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。</td><td rowspan="2">ワークシート
定期考査</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">ワークシート</td></tr>
<tr><td>［教材］
漢字と仮名の使い分け</td></tr>
<tr><td>身のまわりの例を探しながら、日本文化の特色について理解を深める。</td><td rowspan="2">a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。
b[　読　]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。
c：日本文化の特徴について、筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。</td><td rowspan="2">ワークシート
定期考査</td><td rowspan="2">定期考査</td><td rowspan="2">ワークシート
ノート</td></tr>
<tr><td>［教材］足し算の文化</td></tr>
</table>

※令和４年度以降入学生用

2学期	古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ［教材］古文への招待	a：時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 b［　読　］：文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。 c：古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしている。	ワークシート 定期考査	定期考査	ワークシート
	児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。 ［教材］児のそら寝	a：古文の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［　読　］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	定期考査	ワークシート ノート
	作者のものの見方や感じ方について、自分の考え方を持つ。 ［教材］枕草子	a：古文の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［　書　］：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：随筆文化に興味をもち、作者の物の見方や感じ方を読み取ろうとしている。	ワークシート ワークシート	定期考査	ワークシート ワークシート
	訓読のきまりについて理解する。 ［教材］漢文　訓読のきまり 格言	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化と関係について理解すること。 b［　読　］：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 c：漢文に興味を持ち、訓読に意欲的に取り組んでいる。	ワークシート 定期考査	定期考査	ワークシート
	「蛇足」という言葉の意味について考えを深める。 ［教材］守株 蛇足	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにしている。 b［　読　］：文章の種類を踏まえて、文章や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：漢文に興味を持ち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	定期考査	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

3学期	語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する [教材]とんかつ	a:文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b:「　読　」において文章の構成や展開、表現の仕方や特色について評価している。 c:登場人物の人物像や心情理解に興味を持ち、作品の構造を理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	定期考査	ワークシート ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　１０　)時間

・読むこと　…　(　６０　)時間